

外国資本をどう受け入れるか

もし中国や韓国の企業が、日本国内に進出して来たらあなたならどう思いますか？多くの皆さんは「それは困る」と思うかもしれません。日本人には変な偏見があり、特に東南アジアの国が日本の国内へ進出してくるには抵抗を感じる人が多いでしょう。しかし、これまで日本はアメリカをはじめヨーロッパの国々や東南アジアの国々へ企業進出しています。自分達は外国へ出て行きながら、外国企業が日本に入ってくることに抵抗を感じずとは何とわがままなんでしょうか。

これから日本は人口減少化が急激に進んでいきます。その時に経済に活を入れるためにも外貨が国内に入ってくる仕組みを作らなくては、日本は益々衰退して行ってしまいます。もはや自国の税金だけを使って繁栄している国はほとんどありません。中国が急激な成長を遂げているのも外資の進出のおかげです。

日本が経済の成長を維持していくためには、幅広く海外からの資金を受け入れる投資先国家でなければなりません。IMFの統計によると海外からの投資はGDP比で米国は22.5%、イギリス40.9%、フランス47.4%に対し日本はわずか2.4%(2005年)しかありません。日本はこれからもっと海外からの投資を受け入れたり、海外からの観光客を多く受け入れる等していかないと、豊かな社会を維持できなくなるでしょう。



社会人としてのマナー講座4

良い人間関係を作る

つい最近になり昨年度卒業したある先輩が、職場内の人間関係で悩み、会社を辞めたいと担任の先生のところに相談に来たとのこと。会社に入ったとき仕事が楽しいか否か、仕事が能率良く合理的に進められるか否かは、職場の人間関係に関わってくるのが少なくありません。如何に仕事が出来ても周囲の人たちと上手く人間関係が保てないと、会社がつまらなくなってしまう。そのためにも良い人間関係を作ることが大切です。

人間の意思の疎通は単に言葉上のやりとりだけではなく、行為や態度でも意志や感情が伝わってきます。入社当初は周囲が新入社員の方々に色々とお気を使ってくれるでしょう。勿論人それぞれにその表現は異なるでしょうが、その時に皆さんの方からそれに応えるような姿勢が大切です。

職場の中で良い人間関係を作るのに何よりも大切なのは、皆さんが自分の仕事を責任を持ってきちんとするように心がけることです。最初は分からないことやミスがあっても仕方ありませんが、きちんとやろうという前向きさが何よりも大切です。二番目として、周囲の人々のそれぞれの立場をわきまえ、言葉遣いや相手への心遣いをきちんとし、良いコミュニケーションを図るように自ら心がけることが必要でしょう。三番目として相手の人格を尊重し、信頼し、関心を払う心を持つことです。特に年上の人にはそれなりに敬意を払うことは必要でしょう。四番目として、先輩からの注意は素直に聞く様に心がけることです。五番目として自分の感情をコントロールできる自制心の持ち主であることです。ちょっとしたことでカッとなったり、ふてくさるようなことは人間関係を乱すもとです。相手を不愉快にするだけではなく自分自身も職場に居づらくなるもとです。

年齢差のある職場内で良い人間関係を保つためには、相手に期待するだけでなく自分からも常に周囲に心配りをしていくことが大切です。

進路指導員唐澤さんに感謝

8月から1月まで本校と上農と高遠高校の3校の進路支援員をしていただいた、唐澤さんが先週末を持って本校の支援が終わりました。一次で不合格者が30人近く出、その後求人がほとんど無く、先行きを心配していましたが、唐澤さんが多くの企業を回っていただき新たな企業の求人を開拓いただきました。そのおかげで本校でも20人位の生徒は就職先を決めることが出来ました。唐澤さんには心から感謝申し上げたいと思います。

